



戦後80年 平和・未来フォーラム アピール

“戦後80年”という節目の年を迎えた今年、私たちは「二度と同じ過ちを繰り返さない」「平和な未来をつないでいく」ことをこのフォーラムで確認しました。

戦後の日本は、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」の3つの柱から成り立つ日本国憲法によって私たちの生活が守られ、目覚ましい復興を果たしてきました。しかし、事実を捻じ曲げて戦争を美化するような動きや、日本国憲法の改正を巡る動きが出ています。一方、世界に目を向ければ、核抑止論によって、いつでも核戦争が起きかねない状態であること、ロシアによるウクライナ侵攻で多くの命が奪われ、イスラエルによるガザ侵攻では、“ガザ和平案”が合意されたものの真の収束が見えないなど、この瞬間にも世界のどこかでは、罪のない人たちの命が奪われていることを忘れてはなりません。

私たちは沖縄、広島、長崎を訪れ、戦争の真実を学び、そして戦争の事実を現代に継承している取り組みや、戦争準備が進められている宮古島の現実から、未来に平和をつないでいくための地方自治のあり方を考えてきました。また、平和を基礎にした鉄道やバスなどの公共交通サービス、まちづくり、地域社会連帯や労使自治について、地域の皆さんや連帯する仲間の皆さんと意見を交わし、未来の展望を描きました。

戦後から長い月日が過ぎていく中で、戦争を経験した方々や被ばくした方々が年々少なくなっています。やがては、戦争体験者が一人もいなくなる時代がもうそこまで来ています。平和な未来社会をつくる役割は、いまを生きる私たち一人ひとりに戦争体験者から託された「バトン」です。“新しい戦前にさせない”ためにも、そのバトンをしっかりと受け継ぎ、歴史と現地の真実を学び、私たち一人ひとりの「平和観」「憲法観」をさらに研ぎ澄ませて、次世代へとつなげていかなくてはなりません。

そして、地域に必要とされる「社会連帯の輪」を大きく広げて、誰もが安心して暮らせる平和な社会を実現するための行動をこのフォーラムから踏み出していきます。

「鉄の暴風吹かせない」
「平和の最大の敵は無関心 戦争の最大の友も無関心」
「戦争の準備は人間がするもの だから食い止められるのも人間」

この「メッセージ」をフォーラムから次世代へ、そして平和を願い、行動するすべての人たちにつないでいくことを明らかにして、アピールとします。

2025年 10月 15日
戦後80年 平和・未来フォーラム

戦後80年 平和・未来フォーラムアピールを採択！